

Case : 149

階段を踏み外し、転倒しそうになる

### 場面の説明

足元をよく見ずに階段を下りたため、足を踏み外して転倒しそうになった



|                |   |
|----------------|---|
| 利用シーン          |  移動<br> 階段の昇り降り   |
| 主な利用場所         |  階段<br> 玄関<br> 段差・縁石 |
| 介護保険の種目        |  スロープ  |
| 分類コード (CCTA95) | 183015 (携帯用スロープ)  |
| 介護テクノロジー       | —   |
| 二次元バーコード       |    |

### 解説

この事例のようなレール形のスロープで起こり易い事例です。スロープで段差を下りる場合、介助者は後ろ向きになることが基本となりますが、レール形のスロープでは、足元が狭くまた見づらいために注意が必要です。車いすの手押しハンドルにブレーキが付いていると、介助にも少し余裕が生まれます。介助力と段差の高さに合わせ、スロープの形態や車いすの機能を選定しましょう。

### 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：スロープにタイヤを乗せることに気をとられていた
- 人：足元をよく見ていなかった
- モノ：短めのスロープで、角度が急だった
- 環境：敷地の関係で、緩やかな長めのスロープを利用できなかった

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 日付： | 所属： | 氏名： |
|-----|-----|-----|

Case : 149

階段を踏み外し、転倒しそうになる

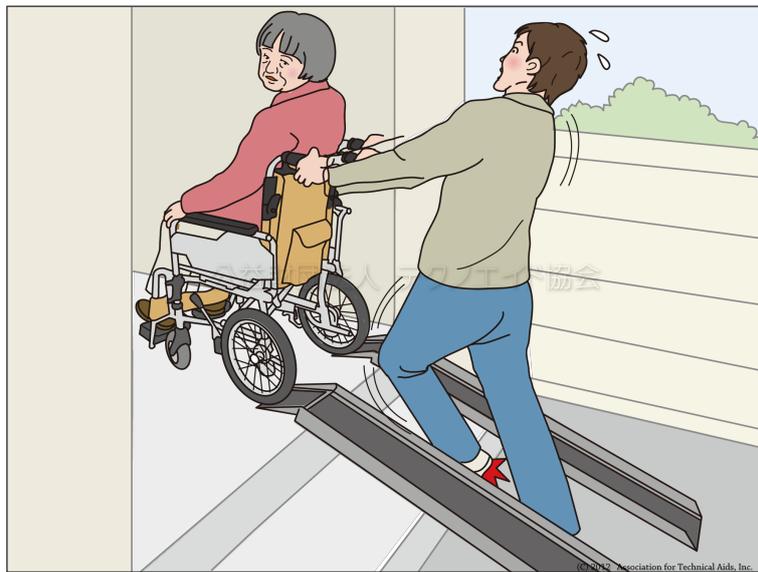
事例詳細



回答前に見ないこと

### 場面の説明

足元をよく見ずに階段を下りたため、足を踏み外して転倒しそうになった



| どのような要因が考えられますか？ | どのような対策が必要でしょうか？ |
|------------------|------------------|
| 人（本人・介護者・関係者）の要因 |                  |
| モノ（福祉用具）の要因      |                  |
| 環境の要因            |                  |
| 管理の要因            |                  |

メモ